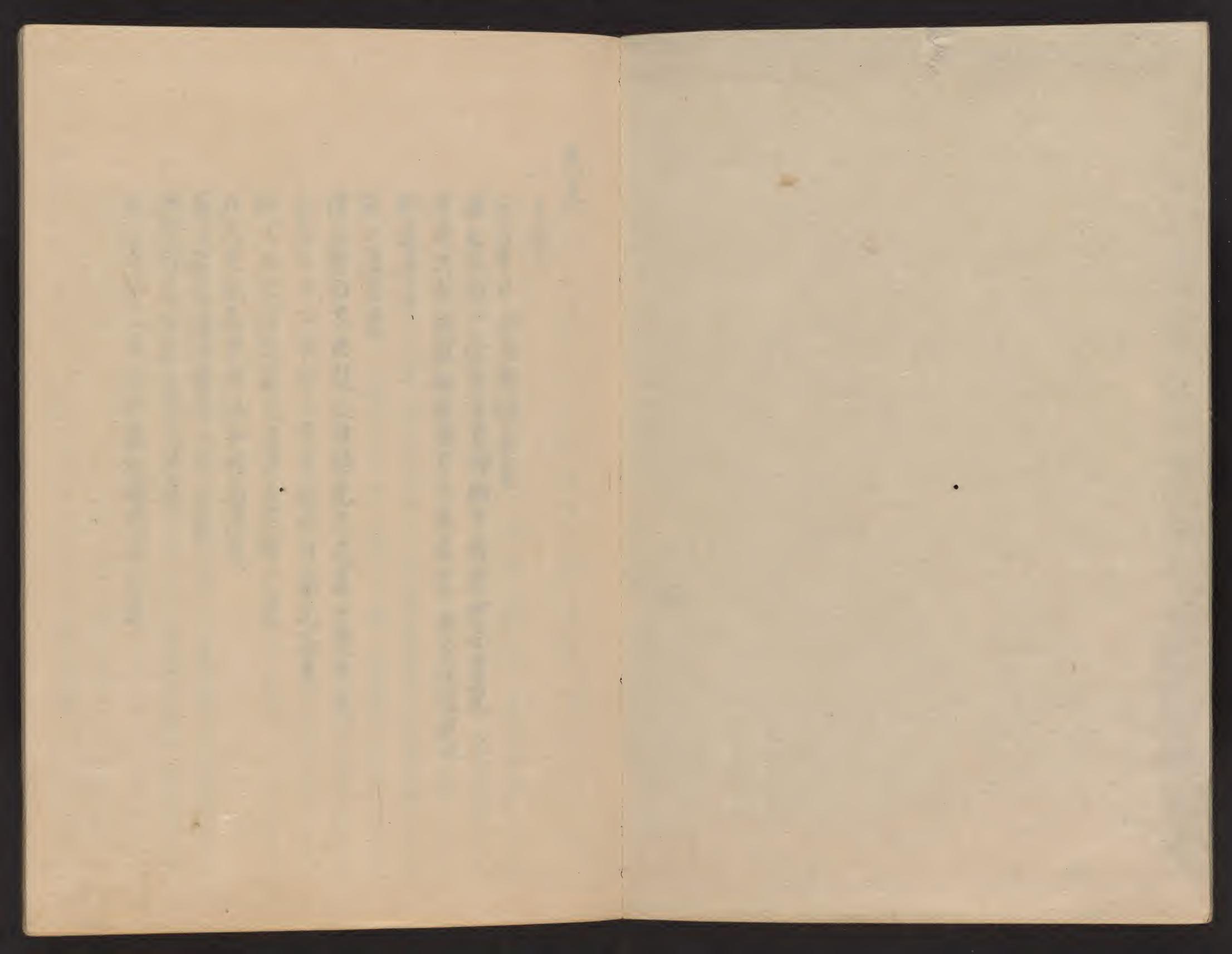
MRNZ

波 稻宴

Westvaten & C.



を基 十九歲 三月七月二条右大臣弓結則有蘇花真变 翌日後墓夏 石大臣以息男四位少将為使夏 始知扇之主支 在大七六君是也 其日源此着布榜向二条沙夏 源此對面大臣毅之次語先日於真日变共 此日石大臣折蘇花送源氏君哥之夷 取替扇事 其夜於弘徽殿細故通右大臣君变 脆月尚侍是也 源成与石大臣六君庙儿帳贈春之夷 二月九月余南殿楊真变 源此寧相中将在春雪轉頭中将在柳谷真变

大声:"杜科心称必须都被称不獨專 为分子多人 卷名 两数被戴之 **袋云南殿福惠**

戲詩赐禄有冤必萬之節始,於以矣必必真夜心之例惟有之 類聚必史一弘仁二年二月辛也幸神泉苑览密樹食文人 原此十九岁之去之一智多

的悉名此為了事面面的獨方的事面教楊家宸殿门 源氏 己上秋发美之 當官事相中将正三位也 故外在整了处的所化了一个部列根据与成为一天地 又与与人之间的事的的多及之乃一重的歌品的樹一人 以本殿の客角でりを大器的別代粉之風飲水物がととれ 焼くりなる一扇傷之各土物とうち到板的同二年公司 根よりとうるちかっとはとめらあとなりくこれとちる

延我十七年三月六日们即即記云殿以常學殿着必命宴令吹

西京り物してらゆうはるで焼モるあるうるる

多事支

即着倚子令召親多被原納我本即系表的在你令召之人即 きた大を 長四年二月十七日脚記曰以日殿都楊必邀同你召支入都 用於事態合為可恨文人今日を使品常限大方真真親 等策預改榜千原輝吃也保息納長将人類擊吹坐夜你信息 水今賦春夜祝楊谷绝勿鄉基湖七高轉 千石同於甚度慈病广榜大根楊公代文章生甚例善規板上垣舊及原言樹 北庇自北京二同数変安座而三牧於心階南簧子爱而親至 有死煩不各中到常陰大守親王各入同魁你悉人立侍子東 代內在信長仍見死初以少蒙京给迫伯发弄不順者数人延 文章临去公流網代民了大市怡文朝长石中命之江民了女 朝长以下信唱弄之召的常分长行弹等悉人不爱奈有時吹 納玄座楊樹下楠左面面而文人在刻充的门省多原朝长参 理年作序子二型百姓车被治院及人鄉又布產幣布玄上 估敵上稿下施送召大内記理平直內內書所勘外由次復請 省令一两 待長唱好你皆還清凉風坐東北廂谷後保忠朝长 千石同於甚座

南諸慈的內所書所入内化稿の代以下文章生以上七人参 上之書奏書之擺發多日斜你以後不可到之作令稱動客 暴姦為原則代在本山於之令書艺目奏必房紅熾機作又令 入仙谷门看樹下宛伯代檢從軍作令就奶麦原云流朝长進 朝长元方在衛维時尹南小標勘令犯中座山時内卷察给石近被火将宴れ標動等上次親之以下犹文養探勘你清平 酒看中納言為原朝於各入你令孫怒其沒作召示不簽級者 代為海师授治文人小近伯和下令後了後发經頻奏吟係不 四五人時夕奏者声以即絕好及子刺於以取文臺以公流朝 口作常使大台就是弹筝中的言爱原朝长弹琴及老利给親 俗长退出 是納言所衣文人於鄉伯長及不吸人亦绘之循寅二朝入內

鮮明上達了今日首北座共構不意自日中及夜半派古詩福 极東都楊樹植南殿醫角白砂埋根朱極还象項月之间逐日 康保二年三月五日商子今日必真受尋吃由猪去不月九七日 食、分离的地也四年间探勘了下方方的了

略之 豹飲且以鄉受且以老級而己但以间行变具見陣記已下

為年親立令後度伊尹朝初分神立心額子被延光朝长我面 同之年二月 步二月 所記云今朝 三侍子於庭下即就必下庫 就是公中又教座同樹山追卷发经行盖砂水石 千時少外記大江昌言假陣座野記之

五名令孫和新巴,刻入门公心亦退也了, **松遺集** 天他之ろ三月内裏るるするがでぬめいけるよ 九分本方大代

必以多い何とつくまっえてかり他去の知りなる春八福はまでか お子につくれいあかのまかれてたもんだろうあからう あるでいまれてるれるできてをををを事しろうやしる あることのううかっているととはまるできたかん を回してりとかのつあって かれてなるる多しは猫ところりといいる のかしまくなりの二人からのるべるのあるるる人をなるあ うりんくん

年代表ある 孫高の事人 差这多事の遊觞一个一你成男八十九殿掌相中心三色子必笑名弘仁三年二月幸神泉苑览弘樹命之人赋治赐绵有 一你氏男八十九殿客相中的云之色

南殿分真例 村上康保二三於南殿乃各京多 不動例被為弘仁三神郎死を否要事物 後と新国とはおってからける地 特探韵例 延存十七年延长四年二月小例之後名意思 おし上の年のありきる びあいるかながくけ次ノとしのまではあまったをなる。ち 必真年系例 天暦三三十二在之化小

明在在中文人的我们 河中南南北北部門

日本地方本外の一日の一丁明年前の日本

大下きるのりりする風の方人勢を世中中康保村上も殿 十一月又被裁之自西京教之以後後入院失 南殿谷真康保三五常常殿谷真 延存十七三六家以後 据川院冲宁已来之本也多 天吃燒亡為爆爐 康保元年四月裁之則枯き明親主象树 身観い材枯自根終的校系及選级上断古奉和古之也之 延衣門記 群列楊樹東鎮三家去常學殿都裏山子死 楊於教妆在於震殿裝角儿草鄉之樹也 每度裁之近相平

い事が用るようの変をそのなのかとりると既顾かられる くるはそける事ののいる家できてもしめる人はんから 今は船後十事席とには落あるりりかりてんらのをあ 金真れ生するりある。真事と用くる人多くのは原殿に 選川るく被りとおれらるあいあるりていて使るよう 清凉殿公真延长四十七七多人公的真天太空三十五 それの中を使の名はる

まれ年号ありまけってもの面割めり かなてるあり他——已上发 九部例一枚の例とちしんけれんのあ ひくれられるい

相重八八八七就殿帝よるよう人好久人好人被成身不多多的 ようきしまからはなりてるならい物域の多方が相重しれつのまけ おあしも殿川橋と川後ろくるあといには殿ようとろと 例之又能能の内代の後ののうちれて准持よい川田できりん 学章極の否言的心事事事というは感受了とかり 极い先着吃の天太平年三月十五日仁夢気を言めるが必相答要 やるううからはの他ある人格とか後の子 双橋的处在中台二月十七日病除在多事的都獨教 表目 村上天皇康保二年之师枢楊樹於る殿を必真仍在公清 的致いい内心探動とらううりかりもあめの場とが後及 斜切る後の例でとう人格探動的文本地の多多的处ち 3 一分近我十七年了一台日常軍人不高的的歌美夜 一くきけっちのあるりなしいはううう近といるまではあと していかが

力してくりけゆりやしろうける

- 一日のことであること

仏蔵成代が川中美のうて、紫松友童きをとうられて同在といる後をかりらうちょうちょうあいる風りくいち候を使死を ななまけめつから、そうないとも飲めるあかり 松之意代的教育代目八日子们为的孩子 かる。近ちの間とりではあるようしゃのでとかれる 八かしての人 者とむちークーを日 多次未代零成代服了了多七人一卷七八份之名於 とろういるあるいのいとうなくして えれる一路しているとうのとうのをありなって 東海はたいり 等在八发意 東文八朱布伦 和日 ないある 素をかくしりける ううろし からうろろろ られてはない 幹 秘问

それなのい まるとりかえらかイニナン るんかん 省长、气力一偶者奉作的初 二 歌之物教系写 」 要要被機器不多了一字通數海界的分子之之 支人名為進文意以探一公見之出後姓名及死探勘客 发口儒者以治一看一書之年生代像政也切勒之世公为八丁谷 美田玉夜城楼谷处药十七花 彩色日鄉 对外部中面的一位了言之已上餐 今紫旗豹一名后名一字话气了人名勒字写代端你甚日同 卷上近佛次的光探門都勘字二字置為蓋果自門階放之 发之处长四年女石近少的安然探韵节上次色心悠属之者 光树善爱源天至四时犯也 次書的字题中地置庭中之文 的な句或以可了分了了力と一个这字了 そ物はいとがは傷者の多くは方特と一字的小 しる感とおりつ 秋文をもつさりかってけるし が約なと一字にいける詩を明をふっていり 等物なと一多時でころうえるのと 傷者代之意 延长四

るめできる中かるありるうくれのかるるとかられて かるすべかれるるだっちゃっちのあい はっちるノニるとるりとるろうろう 切り取るとしてかりんと一なのもろううのかるまでこうう 行行人物一名と源面 るので十四

成下三

五丁里有る

文四的同 できるのかりね 事あずりれずるしいかのな 也多事人的意己之都会的的人的 多さきいめのろううかり まっにかつかすべある~たろう その次な性をいのなくれるしあのりとこれをあるあための えてきしろられのすると 数四川门子多人时度了多月时间的 をつると探るりにうりのかのならこいけんを選ぶる かっしとろのいなく ふのうのとう りんいろう からにはままたん ら真な縁動 まってところう

ろくのろしゃ とろうらるろろろろろ 気も、~いかくに見めなきろりとするのでかっまくから れたけん ゆりのみで 風をすらけん 見なれ の例列に動かきしたちなな 竹门委員の をとうますかれて うゆううるしてる かくるなあめるく人のううしろない きついぬのとうろうつしるゆうと ありんきるないあるろうかのを退とうると ると参なといいるまましてとしるを発力では ゆけってくのよう おいしられると 初着等在八月代也少是力了了人 はなかかわのあれる 詩の改る一看仍今うるり 等切るけるれるととなり 1-1-1-3 必形で おうるとちりけ いかりますれつ くれへめから のかのろしゃ

支付をうくつかくの本· 第天暦之間之見た此示必事に使い 我们无法事人的此人了了的冬年多位与 まくしるといんととできけりとのくうけっとからかかけ 的賣鐵調 大曲 新樂一名天长至考示春香 ける後のあくいかとのかわれて変しりとある 南宫横笛借云有善年此曲者有九大长原信的長及巨勢 或人等仍柔和沙時 勒信的行的此曲令 天曆三三十一二多地多事陽敢院自同月十二月仁事殿谷 合于內笛俸次後原殿電視之者去不感 家のいる後年まり則を答めと奏り他的外後人中仍と あどの年ける一巴上家 多一次八天也富事了一之意的人们的我们 奔和日 年まなーラルーラとかろろろう 发回处我四年文章 皆七人了· 金事年五代例 这 信智之成原東王 一書か

原氏の水りとり代愛

気かいありたう

柳谷就一了了一如后招天水车柳溪下静之之处屋门僧去去 一切りまっきろうり をまるう と建すみるころん 双中和いけっとなりと 他ろと多 等する大海での見らの町ありしくまとりりくずり返の町もと よろうとう かろんろうちゃんかんかであるるとくのをなっているとうとうとう 松子多人我可能 统冲衣制造的 延长的走路十七百多萬 年死喜山年まのろう一個いあれてもち上年人の例のあるるで るとまる風となる物でもつうのとれ例でき おくりるのというなの表をあるのかのであれるとうとかられてあるではるのでは、 であるとうというというというとう 條思的我赐所衣花径透過何人者教人女家東獨本餘之五 けっきまなれてお中的ようして中でもとれるなからてとえてき 袋を愛多いあるけ来の倒了八百丁は 我和京花年とゆのででしい年のまる物のまうう 同途也四年不多事就更的多賜川衣文人 ろううなきいろう てがかるこをするなってっていううかっ そんだとしまく ゆいかを葬しくの葬送るりうろろださ 殿古院之者惟感ぬりろ きろろのりとめの風子ありて巡の年外 うておんりるのまくののでき 我の多でふるあるとく被拗というちてスれい彼死人養生 くるるとありりるやし あるかく 的統無神 家田う人格? た方~ 第三次大子年~~~~ る多場代内の個代了るあれたちん 私之的的"八一起了了了回的 原氏るいり = 多示所之術を 切らをなるなる 你内のあるのころまな 松物了自己必多 ルの条と 了死物

かりしてえやられ ちある透透あったるるっては頂 の氏のちれれてく 気のが詩というでとり みなて後するかと 他とかはとうこれありいまいるとうれるけれる表は引きると が後でからし後からなるでき歌客を歌れなどろしのちし 巻きると被称すりからを中しましてるのうるをとうなくれかられ 中一つりゅんかく一説が大人の人がなるるからとうなか あったりくえいはいりえらしゃりいくついるはかしく 笑云はと你文とるいからっころんろある文有と するとれてく何いとうちもあめははねのなりるちとちろ 私之もい後你とうとてあるよう後すりりとう 多しな人との階でしてる強級 とのうくずずいな低えらっているととととれん な、詩い海丁のしる 防浅目又相目 toget そとろし 秋日 わらん

大きためのようとなるはりつるありあれるいち 竹めとゆる 第四中女のあるのの うかりとのと 秋スかりあるはりできむこう 中文的人的方面的一种文义是是这多少的分子人 クーハ があるあめとりもかし うかりましてからなし 桐屋みつくいりょうとほよ あるりなかとかるまる名人的吹了人的地方人的 おりてからうろう かいないはそとかないとろしいうかくてるくうとありて ろいくしんのかろう 数を教養はからしてあさまりですってきていのかり てからしからのすっとして むのうしょうとうつくなかるのからいのるととはある いる多くとろうくもくこくてほろし ていてらぬとはしてめかれて と新日 そいる 多色

内かのうちありまんるいろかりりよろん 夜で了ゆけく 定然で自る此年間言る 然るもとしむしるりね人かからう るりきやかとからからるの あるるきろうのうなの地なのかてもちんかとうりま うりと大きるしりのほの人とうね やい世上は個かのくこれりようよのあるないかとう るとるの と不思済又もいゆとかっているというとろうろろう きんのとといるのにしずり なってあのかけてるうかなくなかすりるとも しまるるとでくのかちめいろうりうも りようなかとうかりてこうこうとうたかとんかい 一ろいる数うありでいってきとるをはんとせけらして しましてくりといめる かんしつ つき いるるくるあり のできるからん きて が なるま めとい

かっとの教師を放成を教で花を流る神のなとろう そのうりれ ららな 気退な かららめつうっとろり れあーよ 松云处长四年不喜門化小萬二朝一人即怕恨退出了 一つのあっさんいのうと考える 気を、中ノーとろいるり きかぬうつかひなっと 養を目

三のくり ~ 三のないするようむへしょううてんのかみ 事公するもっとうう一扇ろうもけかられたのか かとるあったからのあるのはあるのはあ 一夜かちのあからう病ありちれとこめなとりよかん しの人物があるだとるものからるるあいか やりからるあめたしねるそんでかり 四北南水和安人粉也卷之行的九 我的弘十 あよる少何~~ なでしろうなその 三ろ

かてとのい廊に高のかとこのにる

おくれらうしたと 世中一けわやすら おはろ月夜よ いてりとせんの書としてくるなまれのおから別をよいってない いろうではくちいりのあるる からからいならへいっと 等したあやりらいるするととろいのでうれて原氏と夜 のあやりりいろいろしてとろうちろー するないとせるとうしているいろうりののからかられるいという 或はてきたしょうする(あるあやりりないなる風のすくー 或物門犯よび河を面白一花人のと一てるりある内かり れるかりのろうかけるれてのあやりのできるかられるかん 伊的できてのかちるり 巴上新 ノおりけるる が放放しくろううろうろう 餐が光~~~ そう院門夜のかゆ ううめある

あるひつつけ こうこうゆいろめん おきなからうるうしゃしょうかられってきついちはるあれただっ 家然のみないてしい数のうるありれてちなったい。 此物奥してでうり 勝の何かり 3

するらいのあとろうとろりんなからをうく りつうしゃりき かんりるおりいりけるからかろけるうさ 門天文八三方田入川一多家あるでは物 とくるののかからけるうねとうと まれなからうる 人一一りん あるいらつりのとろいるでしてかって一ラル外見りんだろん の思するすって入りのくみのうしるからしることもと れるうる変のあるれとろろと飛月をいやらめのう きしろりかりつてるであるか であるのかあとら 力なっている りとうているにかし

ひろしておりつかっているかろう だみなっしる かふのかん 少りましてるる うくりきこめくき おかれるりしとかよいてんとあろ見の前し 教師の自称よいろして人るゆううれるとうあためが果然 かいうちくるゆううん いくよりゆいちしのうろく はつかっているとうでんとかったのかのからからかったい りるしつけんもかりろうちうといかるう 勝人は初かり 勝のうゆうり かというしょう の問奉し優し まれらり か見らり鳴りら か向後行と 愛町の印象 りったのかくうちゃんろう まんら かしか 大きり ろうしては に膨めある つきれ し美同

馬りをもせるやってきるけることをけるというり まやしてちろろうかり 秋日 はずしているる ねしゅうんとののとおかさ Brand Comment りてうしてかいるの気のをあったるないでくてとうる をきてくりるなとありるりるいろう ゆうなりしゅくとろいたの いずくえるでは多くるりくしるののできまな (まくかようちんきのかんとなるけりちんある しているのかのかり ればりんをあ とゆのれるの

の水をあるこのであれてる地とういかとうのかろう つつやううなるのとろりれてく りいるででつうというくれおれるあめ 帮教袋又是回一数多 しりとしろうときはあいたれなしるの人からかからっ りんしているときれるいされるしかんかく きるはるる

等は氏のからうくとういうとものできかとうより 砂原氏は短色ででうくろうりとって ますえたくてろういははまかけるいのようのかけてよのゆうろう うれてるある一つるかりいことなるのののれる 多代うしろうだるよりろう あるとうできるのからろうというかとればるので うるいとを名しておあのかとうとるとんからてきい うれらで次のかとうれてしるかしかちろうとはかりゃ 的海の発むでむるるろろうり八十 とやいよしゅうではあのからろうしたし かろうりしまれてかけいあめかりとりてから 第回原在初行了かりる中川之子的解後とある そんかくうう一切的視的するのかのせん いてしまるのしてくろうのしまれてかかり 二年のからけてくうえるのらりりうくきのというなの いろれてろうりくおゆんろうるいとからうちつそろろ 一ろるなでも 一方のかかりためと るるはなとろしい りこうていかりの しんいろう 多

いはれるとうあのかりとうんずかこううなるれとっ るの何とはよさつりくありしとうすり (きるなしからありれてんりるろうとありまする おらぬとうしろん他れらなれるたろんしてく おけれる数な~る人はかろうれいたろう 多るるの残とおりろうるった人となってして 多るかりないきらくうんとからとうのなるあち ていめりころう小像に移回 多向えいて人れてららいつれていからるるではという るかりなてしるろして あるていいるれるうしれあるきのあ 中かれいろんよけるくさいりますとろうある てあのかりとりとりとりりちりるというれなららら という うねめつれてよう 个海 いと原

がなくくなりくう風しくうしぬあるりのろ

るるない

ういちのからけってんすくなのりとろくとや

あっちろうときろしてかあるよう語ではのかる ろうり ちりつか よるのよう かんでんかるころ う人のかつから 多弘中風へかり 等分数之間かしいりのましるうう 後秋 歌山公事代後かかれり~地で 又多级的云溪扇唯建春爱婆と物色了去爱婆子大笑を不多多多的人人人人人人人的人人人人人人人人人人人人人 でする一代なりしてきとりのあるのかろうまゆ ねてくるうしき、後回いられてしるは脱しまの切りせるかり くるかのうあありりんいあかり 後るが利りうれるけられるからなるをのあと一性を知るれん めるるのまりしる時間を川今くろう をないまぬの物とるいしろう~るいかと ろきろうとかるうへが多ろしら くりかとてありすい かっていろうの なのに裏かくけれるり~~ してもあるる いっかかかいんかという いなからからうつか るみりか

女がのかかうし スカーおようりなどま かっているのであるころもって すくせかるりんち 代きろろいで うらけるのかあ 立たのまり れるなととうしろろ さとしるしるま の不自のれようかねとるるもちうんとしているがなる。 いろいなるかとゆのアとしかは大文文と苦かでまい めとするよう人といるあるのかくすれてするひときる いわろうろ おりううなといくうく 大い勝りをうう ゆのいて、多いおろう いれるようちとすり の客ろれさいろう かるちのでまれる ゆのかろうときうねっかす たたれのですいスカーわのからあ

あけるともしいかいろう物なり

ナーへりれるりい 多今夜のあとゆのかと とせつれぬくりれかかり

二條太改大長

Maria de la companya della companya de la companya de la companya della companya

弘徽殿大石、朱在院沿

御文少方 体文考号学

酸壮大长北方 四天人 四子し対はたれ 37

五老

勝月夜尚的そい大き、大き The second secon

おとうとのとのから

いかるなりの後を中まのゆりとりようやれれるうか かのとゆうちって ましていりのでき さてあっちんと あんか~しゆううつ 大冬夏文了 かりんとう のまとのあってかんる 年たろれのあり、多人というかりであのかくうきできるというできる からゆいくろとれましてでいっていりんをきといるのの 代四八元人の9 新一 家之秘後的脚路飞 我回的院教一一多的教的 その中できておくようくうるとけることのき 他出るあつかれずとおりいの一般の夢れるあるの人教の教礼和日 とうちのしまるのでいうるるるをころけるとう ある他しまりつかいゆう か少のうゆかり あるかり いけれとはいめっ

必後事人之の表同じ 男娲奉人凌二之师了多多数あるるとるない

かのろのとやろもしんと でをかねな中将ありの ゆうとはとく ありあいろうながかりくるととうのかなるを担づめり こきてんめのりりん かくしります。 養福、傷の風かのみちりをえる後あり ちゃくなっなたちたのちゅいててとしくさ むねりらつつれる となるあれとりあいく 一つかい暖了 いしっとろ てきるののかりるるろうてんと 勝月夜子でんかってうりくろいいったくぬるまるところ りゆいとすってしていくうりりせあって新日 からある物一中で 1 からくはからよゆりりの 家家の一月退出 を感めの名がなる ゆめつ おたたれの鬼 多

まっとうとう いっているとう 回的よるれい順名と見りくなりの人のあ 作者によっていることを 第の服者の本 からめゆりのうはなるかっきいというはのけまける あったはめるよういろしてできるとうないとうとうないとうとうないとうとうないとうとうなっているのから けるうしのあいるい かれらりゅうるかい が移代りとやう面白くまばって、私参がいていりとろう との知ららくとうのかりのかってきるのかり 後的局にある物品のあるがけんとなってとる からのとうなっているという あしゆくる数つらしく くれまってとうてまるあるいむといる路のうれ 4 てやあんとれ うらあるとけ

多けんちくなんするとうというのりんがあとうているとうなる るれるというのののあるかってあってか ゆくあうりそろうちちのめととゆくあろう 考之ぞのうのらぬかるしょうのあり 移動であるからう他からきかってきるからいるとう の後りかとあるかなかりりころとうでか かれてすりあれるく 第三楼了了一大了大大人的 和人人下了 るのようなないあるけっちというけ いってかついるのるる 我的意子的也是是一般的的人人一个人的人的的人人的 んいるとうとるととろ るいといれるのまとれてりとおりくらうやき そのうひしるるるないろろう るはあるりているのであっている ちは勝のきはす くいろんるている ゆりあり 1203 なりろう

佐城でしいのでころんちらうといちなののと おかいかりと ろうそと んけけらく るるの僧をのなる るののんれがあとるろう かりまるんがとしていますりますりでしているのは、国はゆってけるい路月を作しるしいせようらねいるしいとせれるけれてい路月を作しるしてくてくしょうとしているのでは したすうれる数うかでうりしとりろう せるうないれぬしきむとうきずくねると面の月とろうな うしてかなるのろいりなりすり おいたくともうとうとするてとのまとううろう くってららめるはまというときともと 教がけるとあり 筝 奏上外力 多ろうれるかるうちか りくしいきなり 又多方的代表

おくろのかと

切とうけてさかりあしむすり男です

あるなある

かんろうかっち

るるれに教の人

きいのろりねーう りかかいきでんりるのかん はれると 養代着面一事力のかほのけ ちらのゆしとませてうる かあしてる おかいなくしい なるとやろくまして 多的後人的人人多地的優人像意見一个 る地へりとめてれてりてき あのをうろうう 物候神しれりく 後の葵を代的を言むしてき席の何 しんからをいあって その催る子子 あてろなのでとうけるようしてころのにうりたら れりしてるとうしんなりしろう るかいのででなりるけるしろう 路付られをえせるうけれ 奏とうとうまたりかん りなるのやま 松中へへいけるほとき 老八人のはあれる人 くまろうとかりいる

に催るま様美川はきついのものなりたるるやかりかから おしていりますで次の切るをおやさろきるとみい 考えれやりつうあしならるなられるくう 及うかかかっかえずるようなやさくろきるとのから はあくておやろうろからしていると をよるとしてけらりなとおかりくれる。おやさくらつさ ろうとうとき、松子会し及うかり ととうくうをうりというゆくいろう はきをおりしてうれてくさゆとけるからるですると しる他やさつの書とうの人かくころうの夢れくか とうからしんなるなやさううましてんかり 教養でいるとうちとどろうなとうしかかいんさなよ くらろなるなん かのち うくるのである 火丸多

内をのかせでかり 一切のなうあり からならろ 家也至墓の今 秋日息ろう の巨しあく くろんといわめのうくっくん

年年を作りてあるしてあるとかのうす

何用文武廠康悟をとご年記る於八陽 砂地具信公元受四年延生处长了己了四代干腊九大长 内交行外于每用白号一说出二人"难不必么怎么你我们 龙谁被是了者年又真信公处长八九九二朱在恐受禪之 交使 清約 成艺者写多晚

えしきやりつくに そるうやりかり なずまかり! さんきるといととくをめるのかあめことといればしてせん りうなると云切る気をしるかくなれんのがなとれ わりの異なとあるあるるかれるいとするやくちんとう とのようれるあるいろうやえないちのからいかううろうと 人のが後によりとうととうううのであれるからでとる 切しかとやりろうろうう やくえいうやりさくの気をあるからからからから

かかっていたりうちのの一新じっからのの刺りとなけ たらくれあるとな 必然のらくありくるめ おうるとからりかかあるからのかのか とくとしの人はころう 教的分化方意犯下土各八月以来與"夜水景远的新 至今文景远三宫を我然した人の的的的的多名 が詩してとかめくると勝ろろの おからうなしてくろううとろう 第三子事」なられ年の過去の今人でありてとかのうく 人は物のかしとうるとなるのとのからと 第六月かれかくやしかしょううべいれるかけるのとろれてという あるししとれりあるう 双中ねるしまり のゆくときなるのありしくれるようれると 一等同 のできずり ーにつくうろう

多日がな ワタクシスルト 経ス わるちのかしる他のとあるちありとそるがありと うい数なういめてる方は四周なくにいけんち

のないけていいのりしょうがり 砂双中的の来るの一といのか変勢少一多 らってちれるれとむりの男かちののはとるころ くずうしろうかむしろすり 我代色出的了相多代的代のかりかのう物を おうあとかと一年少らすとろりから 一たのえるのうとしては失る 祭回けるためはあれずとなくしくくりのうりょうよのあれるうい いるをとれる目ろうへしと大をけのろうとぬくののの からしましましたがりかりつうしかろくう後代のから れるびぞうな不喜きといろうましかりくりなどあめのりか ~~なかやけるとときろうれんかっかっちょう かねつきとりろうなしは一ろたたたのないよう てきかりまるよ 教之内教とは了りし きしぬるうかのとする日 つからのものです そのかりるち うやれる くとなる ークれてク 知然

れくとるろろう人 おりしみられると いけんしゃきしく をまるいかりり 後かちろし 行多的の考的的多的多 年中からり 後松あで奏と名かて弁の中ありろう うらんはせるようつ からんけり 段できりて自たを長のかはるりしるがとはよのま をあろうちのとうすでかる 弁中的にたちを息しまいよけるとうあるか 八年のつうとりようのう人神人もあというとれる ろうなのるよべつきもちくるるたのおとう られるはないのあとなるというのでくろうないとうないとう うるがなるとろいろしゃんにはせるとくうれとておかゆう を使える方ちら見る具たちたでるのれるようたたたれるの きのくれるでかり、近世の西西村七日打花百多事人今日 我秘傷し まらんろって 勝のつつ へせるうとあ consess. とつか

かりいの大金にをためられるらる 色了多数の名人。 的格舍多数要真更处的一年一月的九春 たなとる弱水がな多素る的例 附獨物後小豬 的多线 端年後多多路 经教长各三月在两次无数都 かられるいろをあるりしてはるるるとせ 奉不奉仕端的後事一門村場中勢中就是九大夫吗下 好更 明ら後あしろとうありる一あられるのうに私となるの 又天暦三年四川七月お香会友ある代書的 第日地方的 動台八後南方、ち路ろろかり 数ちらうなならる路れるとのかりのもとと おかやはるりいちょうでをを行うしてあのるのきめる かったうつかのかれるるやナロハクスをきるるのあり 他命之後いけるく対かからくるを行うりる路多族を 好うの意あるれかりのとしよりあり ありぬかろう 我的多别考了—— 我秘弘寺及方し からからなななる いるかやけるとうの む者会がなトを好 なのよ しめゃくのつん 好, 1

いうむっちのうりを行うきくとののちゆ かのちりあるとやとしくられていると ふさりつきゅうと 横しきくうりつきでん いかかないかの何はあるるるとのとと そいろんうきくのろるころり一分的を 答えのろんとうちのとれるかのあるうん ありなれらりょうなるるかんとなれの やるかとうくいうりはだしらいろう さしかないーまるうくーなくるいちあるかかりのは いあのかからかけなる人の川分とるかる方とと上谷と上餐 いるようなとうときなっておってきてきかからこゆめい いかいろとの人のかりとろうよりてい 氏すしてんするからろうしょうんるうりょうんよとりて りあるいからけまるうしてくつのかるというかから をかつからかないいのはあれてりつくくうしゃったいため る代初、お炒 多てこうず do り切とる しておりいっとかん かってなるは

松面白きろうゆううをけいから後てきる くちらう何である、ろうりかり

なるはれやしむは物としてあとかく

けっちるると あるける一ちてのまるしてけってうることもこと に住かる 美美太和公の男 天中年の名 えずりけれのあ おるを放う かゆのうとあるたけをは表するあるの次色的の多ります。 をするるとないると自慢のあしてですると んり~物りの人 たろを方けん りくとくの国おくろうかくこのす のゆ版の少まなりのでなるなななたちたのかりくろう れかりるののうろうれからあるろう の以きなり門版の文本ではの体はに以きな 多いかーラー きてると そうとうつ と教教

をとうくれるのをしるとう人人の多ずるわられてあるか はいるれて自慢のゆうようでうとう 仍をとけくしき うろうとおりせきからんとあやしのいと早下ろうほとう あのるせられるのかりちりにありはすり くってううとうれるではいるはかいせるよるの称から かくやしているの作しというしまの行るとうちのあ りくみかいちろうかかってけりし自慢とは多し けあっちっくきる はほとすってんゆうん

はとうろうろうなるととくれるとか くうしてうておりやさりつんしのあくあず之か そいまあるのいとういろるかれかしてゆとるろうせてし 後代記者となくつちゅうめらやとと いしるほはおりのをしてせるがはらからるうてとわりとう 私主あぞうへてのなるしいしるをからるとかとつけっろう初の くなるるの人にようきしかくとうかり あっていれているいろ しろんろうかいか日 りるつくけるすい

ろうりかるうやし ゆかりのらんきくを名けるとかめ うしましてあるといの内门へあると 等を行めるる物気をかめらるやりる かかがなろうともうかり てきとは後しるおろくしまるして使う 永二十一年 家件家紙说人名 新なのうくけられるかきる 配云ば我 翠谷ある不敢之人人 えるをとくしるよし なちれのからろう ういるなのとりではよる方というとかけたると あめるなりのはのあるよれらんせるゆう をなんのり慢しくろうりかいとう おりんをしているかりのからしていまうかうの やとなられ解り、いないあるろうよう でものの風慢のをしるからんとう となるとほとなせんとのこつける からるともあらるい りとろくいかれるの しんりしばれるが ラスト かんとうろは你は とううとまり くっちろうろ さんしのけり og a るる

かってくから ろうつかかのな 年のよういのせまていとおりいるあるれるうくのう 都你不是他的年 了一起了你的人 るのちりとはるとしてあるの地であるいなとれかよう くうかれんうつうちの けるとを気のからうろ すれてとうるるるうるなかのかり きなしかな別ろうというのあるうちとてくてぬ 你の内名可 流料 歩うちかり 門门の面刻かり きつく うられじか 多の多

あのりけきのかとり かるぬめのでう一声としてるかかろうです くれ、好ないるはあのりけるのあると 第名と果ける後は同一内よりれるとうちかけるになる くうぬかしたの命と可じて格の食 いうとうくくくいろくれるとりいうなってと風 かちううろくろしけるまるとしまっているとあってる 多松記了及了 のきいを向うれん とやし れっているとの 多でかて

的真衣布衣 练るようけんうかなけける 何あるとなべりる

ういつありるるろくれ物のありとなるの 常代施了物奏的人物と川と、猪 を残しりよっちし

部をを引露して 老と川のの

うれ人、う人のうる 家をなる、他とう人他と考れない かりまたっちりかるのだったっといわらいわさんちととう 祭犯面文云上"脂粉也多不是路谷 孝、凡動し本草学 たろう 腹の間、着薄胸からる 知是不解信了了一个自己的之面衣布猪八般赔偿人 个事与了人物人物、我、そうとう 使不多りまする 他は下るなとかる

すると別ろうするといろろう ある人のようないのではるなるのからから ある名が他は物学了人概的一品等了人必要人 紙と川子をあるかのろうける数して らな の暑してまる 大変かる

あいるやめの 中くてきぬり いけりれの多蔵いけろうしゅう そのかしてそうしてもろうさてるらのであり 松古以我与国无数了的行政 分くかりくまるゆしくうん 息とうりかりにのかんとからう かるるでし あれぬしないせるいけ あるか

そうちゃし こるこのほう サータサンち かとかがゆと多くかれるうるのかいころ なるなめなるおれたなの人が食る少ないんとう ない意となっているとないてあれた様にあるいのと 後之サー 表落下八一如子 多年なの版

るのは、あるいのかのかし るがあってくなるとうりにはるるだけかと おおれた時のかろるかのであるからうとう けあとかられるとろろろ あまさ? おろいうちつちつりとありりにてして ーつかっろう となっよりくうくる多ろうり とろうなけかかのかどめいろのから 包生了小人と小北文存在是要要で うくますの時代をまのはかりうねるうう又車りとぬという 12311 ろうとはよのまのなさりか そうであったからううとのあるとあるとあるとある ゆうとあるればいるをのかりかなけるかんれといすととから 12 かくるるはしはいれげん あるれるけるれるろう うりけつきくおとれつる 新門をすとうとりの 心とうりいてある 他にしる国よる うるいようのは残る 八生 れるゆと 30 las クーでも回っ 一八奏子八色 7

以何物的我吃了的的人人了了一个季季不好和 かるろうれるのしんとういろなるうちとうとうなかったい いるるとはすというできたるべる氏のさくとかり りるるるある ひつかりくくくくりあることとくろううのかないとく らてうけるとうさせるられるのののであれるいける つていれるより物をみいうかるいは三年のおとと思にない かっているかられる うってけるりしたいろうい ほのかしみするのいり いるうきくても しまくろんと

るとくれろうきめとるの かけるのでうちんといってするともとう さんりくうけきししるのか知らまるりの うしていくの ういろうりあるるめかしけるとう とあるようきかかのあるのか 第回とこる代表で~~~ くいけれのまとろ いめらん

うゆくくら ならればかれいなる一日のかくろうとうで もあくとう人へんかうろうくわかけくけいのあるか のんとはいくいよりいろとといくその人のこと てきぬうであるゆうとうれてとうめく 後歩とかしいかとるをすりてるこのあ はほよろううのわしてきへんろうから かいろれとうりねへい你氏の天代やあるよ してなる。そろろしは人でれりの 養られ路了 路を むのころでするる場合をかったかしまのころをあく うどるがと るくらかとうして ゆうし れるうゆろうとうかとねしいいろ 一つやってからへきある おるりにいかいのあのかとき れてやするきょうてんとうので 松松高 多多 のはろろかろう さいくなってるかけ あろう かんか 3 うれると

うろうりつうもしていちりりんりあるこう えるのくえるののあったくいほのりれときり ではからいのかのかりかりかれるとうちのりからから の側見月 教はうしているのうからからなりなりしているうち するのはんなくとうかくうかん 何八云一意動一直奏発写多 かくるら べしよかしいからしいからのありるをあるといろはられる スとなっかしろううからかる ううゆのようなとろうかとうある 家田多多地に勝代知とう人心心之多多的 了のにゆうよくるのかよりしぬあるするちにぬのあれ うりにそののかれかれてのうりととういとう からのくようでしたてして あられ後の日かれて棒ち入さのようのうはめ べいきをからいるから なゆらりり一やは うろいくないろとよ おけるけかと回 10 3 しくる代分 かくろのる B となめ

るでなり うんのきなるのかといってのかろうちろうという 人とありるって

りきるかりつつうう しそくのあくらうちゃんち かんなんなかとうすせらり 一言のう るかののなかといくり 8 くいわれていると大の君とい うきむう 人代務候为了 やうくしいい

那七分色十 はくろいるようといるのはあるりになるろうれる くるがあれなのあっていんかりありられておると うんしかのあるくしてんりつり 多くうろんあれいけんそ何いにあめらいかをならのからし 致なりめぬの場とはあのかるありれるとゆのがあとる あるというのののかられるであるとろんで しているという りいめ

彩花名の移面白一心中说的纸像八色了了 そいあれてもサのうしとうていらとうろう りつろうり

等 あかかいろうりりとうれてもかのをますてきるれるないとう けんれるんとうからりやみ大きれるまでのといかからい するいうりたわりからくしきしくくくくろまかのう もなればしいけてるといかろうり 作化しる さてくまするとも表然人を退るころはつうろうきうなるろと めらいるとうかとしめくわりしいろう らんとういすからめれいありととろ なれてもれあちきか やになるうわ ううきスほの

面白ーとから他し 来のぞよろしわなりへのサイサーいかをろうなととろう なるうりしまめりからしきさらなんとなべるめかした

があのとううなけるのでといて人数あるりのたるととる 美秋九郎成的像のかしゃといれようれ 方面番判りとはあずれいからられれてら りし物液でをは

